

議会運営委員会会議録

- 1 日 時 平成29年7月21日（金）
会議時間 10時01分開会 10時55分閉会
- 2 会議場所 役場3階第1委員会室
- 3 出席議員 委員長 : 高橋政悦
副委員長 : 奥秋康子
委 員 : 桜井崇裕、木村好孝、西山輝和（遅刻 10:22～）
議 長 : 加来良明
- 4 事務局 事務局長 : 佐藤秀美、係長 : 宇都宮学、主任 : 鵜田瑞恵
- 5 説明員 なし
- 6 議 件
(1) 議会だより第150号の発行について

(2) 議会報告会と町民との意見交換会について
・ 質疑、意見・提言等の議会運営委員会での調査検討

(3) その他
- 7 会議内容 別紙のとおり

(1) 議会だより第150号の発行について

委員長：(高橋政悦) 本日の議件は、議会だより第150号の発行についてと、議会報告会と町民との意見交換会の中の、質疑・意見・提言等の議会運営委員会が所管すると思われるものの調査・検討となっている。

それでは早速、議会だより第150号の発行について、事務局から掲載内容の説明を願う。

鴫田主任：(掲載内容について説明)

委員長：掲載内容について説明を受けたが、特に意見はあるか。

(なしの声あり)

委員長：それではこの内容とする。続いてページの構成案について事務局のほうから説明願う。

鴫田主任：(ページ構成案について説明)

委員長：ページ構成について何か意見はあるか。

(なしの声あり)

委員長：このような構成とする。次に編集後記であるが、順番では桜井委員なので、桜井委員にお願いするというところでよろしいか。

(よろしいとの声あり)

委員長：では、桜井委員にお願いする。7月28日(金)までに事務局へ提出願う。本日の議会だより第150号の発行については以上であるが、そのほか何かあるか。

(なしの声あり)

委員長：最終的には次回の議会運営委員会で決定する。本日はこの程度にとどめる。

(2) 議会報告会と町民との意見交換会について

委員長：質疑・意見・提言等について、当委員会が所管とする項目について調査・検討を進めていきたい。資料の上のほうから一つずつ進めるので意見を伺いたい。

(23-1)は災害時の話のようであるが、『議員個々で動くのではなく、マニュアル化したもので対応すべきではなかったか。全員でどうするか条例に入れておくことも必要。議員で得た情報を的確に伝えるべきである。』というご意見であるが、これに対して議会としてどう動くべきだったかということになる。皆さんの意見を取りまとめたい。

木村委員：質問であるが、管内的にそういう事例が資料としてあるのか。もしあればお聞きしたい。

委員長：議会として災害時にどのような動きをするかという条例やマニュアルがあるのかどうかであるが、そういうものは調べていないか。

佐藤局長：たまたま、先日の西部十勝4町の正副議長会議の中で昨年の災害対応について、各町で話題提供という形で、どんなことをやっているのか話をした。芽室町は計画的なものを作っている。新得町が災害対策室みたいなものを設けるというようなことを要項か何かで作成していた。西部4町の中ではその2町がそういった明文化したのものを作っているという報告があった。

委員長：今日やらなければならないということではないので、次回までに事務局にその資料を用意していただいて、この後、清水町としてどのように進むべきかということを決定したいと思うので、本日は、この項目については保留ということで次回にする。

委員長：次の(32)は『要望には時間延長しても納得できる答えを出してほしい』とある。これについて委員の皆さんはどのように考えているか。

奥秋委員：お尋ねの趣旨というのは、報告会の中で時間を延長してもその時に納得のできる答えを出してほしいと捉えていいのか。それであれば時間内で答えを出すのはなかなか難しいと思う。

委員長：きっとこの方の意図は結論がほしかったと思う。でも議会としてすぐに結論を出すとい

うことにはあの場ではならないことなので、これに関しては、即答できるものというものは一度議会に諮ったものであるから、ぽっと出てきた要望等には即答ができないというのがこれに対する答えになると思うが、その結論に至る前に、例えば時間がなからお互いの意見交換が途中で終わったということだけは避けたい気もする。だから時間を延長することも可能だし、結論は出ないまでも、皆さんの意見、議会としての答弁を、時間をオーバーしても交わすことができるような形はつくれますというような答えしかないかなという気がするが。ただ、会場を借りているということで時間がオーバーしたら困る。例えば 10 時までにはいいが、12 時まで延長できるかといったらそうはならない。その辺くらいしかない気がするがいかがか。

奥秋委員：納得できるような説明をしてほしいと言っても、場合によってはそうならないこともあるので、できるだけ要望に応えるような努力はしても、問題の定義がどういうものであるかによっていろいろあると思うので、その都度対応するべきだと思う。この方は最後に結論がほしいということでしょうが、出せない場合もある。

委員長：意見交換の時間については延長もやぶさかではない。ただ、結論については出せるもの出せないものがあるので、出せなかったとしたら持ち帰って、今回のように回答するような内容で、返答するしかないという気がする。そのような内容でよろしいか。

(よろしいとの声あり)

委員長：続いて (34)『意見を述べていた方たちは、この意見交換会ではなくても語れる人だと思う。アンケートの中に「テーマについて言いたいことは？」など入れてもいいと思う』つまり、あの場では発言できなかった方の中に、違う場で違う方法で語りたいという人がいるということであるが、これについてはその他で書いていただければいいが、テーマについて言いたいことはと 1 項目、アンケートの中に入れることも悪くはない気がするが、皆さんの意見を伺いたい。

木村委員：テーマに関連して 2 つの違う意見が載っている。そういう面から考えるとテーマについて何か意見なり、記入できる項目があればいい感じがする。

委員長：アンケートの中にそれらの項目を加えることも必要なのかなという気がする。これについてはアンケート内容について意に沿えるよう検討するというところでよろしいか。

(よろしいとの声あり)

桜井委員：進行上、限られた方がどうしても、何回も意見を言うことがあるので、なるべく多くの人の意見を聞くような進め方というのがやはり必要かなと思う。アンケートの中で書いてもらうことも含めてもう少し進め方をご理解いただく。

委員長：進行にも絡んで、あらゆる方向から意見が出るような形をつくっていくということで進めたいと思うがよろしいか。

(よろしいとの声あり)

委員長：次の項目 (35)『議会には多くの町民より要望があると思う。意見交換のテーマについては、多くの他の町民の意見を求めるテーマを選んでいただきたい』ということであるが、これについては各議員が町民の話を聞いたうえで、今一番町民が不安に思っていることや、意見の多いものについて、議員個々がテーマを決める際にそれを出してもらうとか、もしくは早めに広報などで「どんなテーマがよろしいですか」というようなものを出すなど、この人にとって今回のテーマはそんなに重要ではなかったという気もするが、これについての回答としては、「あらゆる町民からテーマの要望を聴取するようにする」としかないとと思うが、「その方法については議会として検討していく」ということしか今のところ言えない気もするが、これについて議会運営委員会としては広報を使ったり、それぞれの議員に早めに、町民がどんなことを求めているのか、そういうことを聴取してもらうとか、機会あるごとにそのことを心に留めていただいて、町民の求めているものを把握しておいてもらう。その上で各委員会の中で検討してもらうだとか、そういう方向でいきたいという返答になると思うが、皆さんの意見を伺う。そういう方向でいくということでよろしいか。

(よろしいとの声あり)

委員長：では、そういう方向で、テーマについては事あるごとに町民の要望を模索しながら決定していくということで回答とする。

それでは、次の項目 (36)『一部の議員が後ろでしゃべっている。話を聞いているときに邪魔になって議論が聞こえない時がある。全員前にいた方が良い』は、前回の全員協議会での振り返りの中で、後ろの議員は静かに聞いてもらうということで決定してい

る。班分けをしているので、後ろの議員がうるさかったのは良くないというのは当たり前のことなので、静かにするというところでよろしいか。

(よろしいとの声あり)

委員長：次の項目(37)『芽室町の議員の方が中心となり、昨年の災害をレポートにした本が出された。清水のほうがもっと書き残さなければならないことが多いと思う。前向きにポジティブに活動していただきたいと思う』についても、芽室のレポートを見てみないとコメントができないということで、一番上(23-1)のマニュアルや要項と合わせて、事務局に災害レポートを用意していただいて、その後に検討したいと思うがいかがか。

(よろしいとの声あり)

委員長：では、この件については次回、資料を用意していただいてから検討に入る。

それでは次、項目(38-1)『行政とひとくくりに、つい私たちは思う。しかし、これは道、これは町、これは国と縦割りにして逃げることをさせず、横断型で対応策を作成しないと、いつまでも何事も解決しないと思う。責任転嫁を互いにして、住民にプラスにならないことについては、生じさせないことが議会としても働きかけるべき。行政も議会も構成員が多くは「住民」でもある。公人として、私人として、住民目線や弱者の視点でものを考えないと町はよくなる』というご意見。

確におっしゃるとおりだと思う。縦割りでは本当の住民の声は届かないということ。ただ、これについては今までの流れがこうだったということで、それは悪しき慣習ということ踏まえて、議会としてどのようにその部分を解決したらいいのかということを探求していく、検討していくということにしなければならないと思う気がするが、皆さんの意見を伺う。

木村委員：今回の災害でそういう思いは私たちにもある。今後は町自体、住民自体をベースにしたそういう働きかけをできる限りしていくという方向性しかないのかなと思う。

委員長：これについても実際の話、我々議員がどのように動いていくか、最初のテーマと同じようなことで、そこから見えてくるものもあるのではないかということはあると思う。これについては当然、この方が言われるとおり、住民にプラスになることを第一に考える形にするには、最初のマニュアルや要項、それを踏まえてそこから変えていくということになるかと思うので、その項目についても次回に項目(23-1)の流れ、(37)の流れを見て、最終的な答えを出さなくてはいけない気がするがいかがか。そのような流れでよろしいか。

(よろしいとの声あり)

委員長：その次に移る。項目(38-2)『政策にしても「PDCA」のサイクルと、専門の知識を持った住民も含めた「知」と「住民のためになる」ことをしなければ何も変わらない。住民生活を支える大切な機能を果たすためには、常に「パブリックコメント」を受け付けるような「目安箱」的なものは必要かと思う。コンパクトな町、様々な課題やお金の問題もあると思うが、今のままでは何のカラーも特色もない町で、最後は夕張のようになることは目に見えている。様々な年代、生活状況の方が主体とならんと「まちづくり」はできない。このままだと正直明るい未来は望めない。人口流出や産業衰退しか道はない。それを肝に銘じてもらわないと、議会も行政も談合している、都合のよい形で進めているという誤解を招く。“モノ”を整えるだけの政策ではなくて、メリットのある政策ができる戦略集団で行政も議会もあるべき』。

厳しい意見である。大枠は本当にこの方の言うとおりに思う。ポイントは住民の声が届いていないということがまず1つ。すべての予算や事業等に特色がないと言われていると思う。そして希望がないということで、そのイメージを打破するためには議会に何ができるかと思うが、最初のほうに「パブリックコメント」を常に受け付けるようなところがあるが、決して受け付けていないわけではないと思う。ただその方式があまりにも複雑でわかりづらい。今現在もパブリックコメントを受けている事業があると思うが、どこでどういうふうに出せばいいのか、わかっている町民はほとんどいない。それをなんとか変えていかなければならないということもあると思う。要するに「議会も行政も町民の意見を把握していない」と全否定されている内容。これも議会として何ができるかという内容になってしまうので、これについても今すぐこうしますとはならないから、ほかの町がどうかということ。一連の流れの中で(23-1)、(37)、(38-1)、(38-2)に関連する話であるし、これについてはほかの町はどうだということも、委員が次回までにそれなりの考え等々をまとめ出していきたい。そういうことでよろしいか。

(よろしいとの声あり)

委員長：では、次回までによろしく願います。

その次の項目(38-3)『心配なのはこういう場にしても、議会の構成員の方の高年齢化がとても気になる。“行動”できる世代を育てないと地域は永続していかなくなる』

これはこの方が思う高年齢の方々のイメージだと思うが、これについては75歳だから高齢なのかといったら人それぞれで違う話であって、60歳でもすごく元気のない人もいれば80歳でも元気な人がいるので、この部分で行動できないというふうにしてしまうのはどうかという気がするが、コメントとしてはどのように返答すべきか。ただ心配して下さっているだけなのか。行動できる世代を育てるのは町民であるが。

木村委員：世代交代ということでは意見がそれぞれあるけれども、どこの町村でも抱えている問題であるので、検討課題であるということは明記したほうがいい。

桜井委員：議会活性化特別委員会を立ち上げているので、そういった件についてもおそらく議論されると思う。高齢化まではいかないにしても、なり手不足の問題は避けて通れない問題なので、議論していく。

委員長：ただいま桜井委員が言われたように、議会内部でも年齢構成は別として、次世代に向けた活力ある議員を輩出するためにも、検討を重ねていくというような返答でよろしいか。

(よろしいとの声あり)

委員長：次、(39)『3年目になるかと思うが、進行も大分慣れてきたように感じる。一方で責任を迫及するような意見が長く続くことが若干ながら気にかかる。場を変えて処理しないと時間が足りなくなる』

進行上の問題かと思う。私も3年見ていて、スムーズに流れてきていると思ったが、町民の方の意見が特殊というか、一つの件で深く来られると時間がかかることがあって、そこは司会の腕にかかっているような感じもするが、これについては確かに時間がかかってしまうということは否定できない。これについてはこういう返答がいいという意見があったらお願いしたい。

今年ではないが去年とか、先に質問内容が届いていた時もあった。出してくれるかどうかは別として、それを最初に求めるたら進行をスムーズにすることができるのではないかと思うが、なかったらなかったでもいいけど、どうしてもこれが言いたいというようなことがあって、その場で、結論までいかないにしても、状況を細かく知りたいということであつたら、資料などを用意することもできるし、それが可能だったら組み込んでみるのも悪くないという気がする。

加来議長：文章を見ると、進行に対しては評価していて、責任を迫及するような意見が長いということは、御影の場合だったと思うが、清水では時間が余っていたので、特に問題はなくて、一部の意見を言う人の問題だと思うので、それを処理するのであれば全員協議会で振り返りをしたように、司会進行に今後気を付けていく。配慮していく。一人の人に長々と自分の意見や責任迫及みたいな意見を延々としゃべらせないというような配慮を進行でしていくということではいいのでは。

委員長：議長から意見をいただいたが、その方向性は認められているということで、司会がその場を仕切れるようにしていく、そういう返答でよろしいか。

(よろしいとの声あり)

委員長：では、そのような内容で報告とさせていただきます。

最後の(40)『テーマを設定しない方がいい』という意見があったが、これについては大半が、アンケート結果の中でテーマがあつて良かった。どちらともいえないというのも合わせると、大半が肯定的だったということ踏まえて、これについてはまだ1年目でもあるし、次年度もテーマを設定して開催したいというような返答になると思うが、いかがか。

木村委員：今、委員長がまとめていただいた意見と(35)を合わせた形でもう少しやってみてはどう思う。

佐藤局長：今回テーマを2つ設けたが、その他の部分の時間も設けている。だから言う場面はつくっている気がする。

委員長：40番の回答としては、まず1年やってみて肯定的だった人が多かったこともあり、もう1年やってみたいという返答でよろしいかと思う。それに対して(35)と合わせて、(35)についてはテーマを町民が求めるものを把握したうえで設定したいというような内容にもなると思う。これは合わせて回答してもよろしいかなという気がする。

以上で一応、本日でできなかった部分もあるが、できなかった部分は次回までに事務局のほうで資料等を用意していただいて、それによって検討したいと思う。また、(38-2)については全体でなくても個々の部分に対してでも意見を聴取したいと思うので、よろしくお願ひしたい。

以上で、議会報告会と町民との意見交換会についての検討項目は終了したが、そのほか何か皆さんのほうからあるか。

(なしの声あり)

(3) その他

委員長：その他で、委員のほうから何かあるか

(なしの声あり)

委員長：事務局から何かあるか。

佐藤局長：9月の定例会の開会日は次の議会運営委員会で最終的に決定するが、今のところ執行側と協議しているのは、実は9月の第2火曜日が12日で、御影のお祭りとなるため日程を変えたほうが良いということになり、翌日の13日(水)開会で協議している。次回の議会運営委員会までにははっきりさせたいと思うが、若干開会が遅れる。9月13日に開会すると、翌週の19日(火)・20日(水)が清水のお祭りとなる。その辺の日程調整もあり、9月は決算もあるので、会期が長くなる可能性がある。12日(火)と19日(火)と20日(水)は会議を入れられない状況であり、13日(水)開会予定で、9月下旬(28日)位までかかる予定。一般質問は2日続けて平日で取りたいので、21日(木)・22日(金)かなと思っている。13日(水)に開会して14日(木)休会だと、15日は金曜日となり1日しか取れない。飛んでしまうので、21・22日が一般質問になるかなと考えている。最終的には次の議会運営委員会でお話しさせていただく。

委員長：次回定例会の日程について、概ねの話であるが、次回は7月31日(月)に議会運営委員会があるが、その時にははっきりするとのこと。8月の初めは事務局が決算審査で都合が悪いよう。日程が取れないようなので、7月31日(月)に開催する。

そのほか何かあるか。

(なしの声あり)

委員長：本日の議会運営委員会を閉じる。